

# 奄美市総合計画

## 参考資料

「奄美市総合計画」策定の主な経過

奄美市総合計画審議会委員名簿

奄美市総合計画策定委員会委員名簿

市民アンケート調査報告

奄美市総合計画策定主な経過（概要）

年度	月 日	事 項
H20 年度	11 月 14 日	H20年度 第1回総合計画策定委員会
	2 月 10 日	H20年度 第2回総合計画策定委員会（第3分科会）
	2 月 20 日	H20年度 第3回総合計画策定委員会（第2分科会）
	2 月 24 日	H20年度 第4回総合計画策定委員会（第1分科会）
	2 月 27 日	H20年度 第5回総合計画策定委員会（第4分科会）
	3 月 26 日	H20年度 第1回総合計画審議会
H21 年度	4 月 17 日	H21年度 第1回総合計画策定委員会（第2分科会）
	4 月 22 日	H21年度 第2回総合計画策定委員会（第3分科会）
	5 月 26 日	H21年度 第1回笠利町地域協議会
	5 月 27 日	H21年度 第1回住用町地域協議会
	6 月 29 日	H21年度 第3回総合計画策定委員会（第5分科会）
	8 月 26 日	H21年度 第4回総合計画策定委員会（第2分科会）
	10 月 27 日	H21年度 第2回住用町地域協議会
	11 月 25 日	H21年度 第2回笠利町地域協議会
	3 月 30 日	H21年度 第1回総合計画審議会（市長から総合計画審議会へ諮問）
H22 年度	5 月 19 日	H22年度 第1回総合計画審議会
	5 月 25 日	H22年度 第1回笠利町地域協議会
	5 月 25 日	H22年度 第1回住用町地域協議会
	8 月 16 日	総合計画策定委員への意見聴取
	8 月 18 日	H22年度 第2回総合計画審議会
	8 月 25 日	総合計画審議会から市長へ答申
	9 月 27 日	奄美市総合計画・基本構想の策定（議会議決）
	11 月 29 日	H22年度 第1回総合計画策定委員会（第1分科会）
	11 月 30 日	H22年度 第2回総合計画策定委員会（第4分科会）
	12 月 1 日	H22年度 第3回総合計画策定委員会（第5分科会）
	12 月 1 日	H22年度 第4回総合計画策定委員会（第2分科会）
	12 月 2 日	H22年度 第5回総合計画策定委員会（第3分科会）
	12 月 14 日	奄美市将来構想特別委員会における議会集約意見報告
	1 月 28 日	H22年度 第2回笠利町地域協議会
	2 月 4 日	H22年度 第2回住用町地域協議会
	3 月 8 日	奄美市総合計画・基本計画の決定

（主な取組み経過）

件 名	実施期間	備 考
総合計画アンケート	H21年 1月21日～H21年 3月31日	
議会特別委員会	H22年10月 5日～H22年11月16日	開催回数8回
基本計画パブリックコメント	H23年 1月11日～H23年 2月10日	
<ul style="list-style-type: none"> <li>┌ 庁内ワーキンググループ (WG)会議</li> <li>├ " ワーキンググループ (WG) 幹事会</li> <li>└ " 幹部会</li> </ul>	H20年 9月24日～H23年 3月10日	70回

## 奄美市総合計画審議会委員名簿

(敬称略、区分毎に五十音順)

区 分	所 属 団 体 等	氏 名	備 考
公共的団体の役員及び職員	奄美大島観光物産協会会長	越 間 多輝鐘	
	あまみ農業協同組合専務理事	豊 田 孝一郎	
	奄美大島商工会議所会頭	浜 崎 幸 生	
	奄美地域女性団体連絡協議会会長	春 岡 仗 子	
	大島郡医師会会長	○平 瀬 吉 成	
	奄美市社会福祉協議会会長	前 田 篤 夫	
識見を有する者	奄美市体育協会理事長	岡 山 嗣 夫	
	住用町地域協議会会長	田 部 義 和	
	NPO法人 奄美野鳥の会会長	鳥 飼 久 裕	
	奄美市名瀬町内会・自治会連合会会長	前 山 重一郎	
	笠利町地域協議会会長	南 隆 光	
	奄美市文化協会会長	◎山 田 薫	
公募者	笠利地区	高 井 直 人	
	名瀬地区	安 田 莊一郎	
	住用地区	山 田 千代子	

- ・◎審議会会長、○審議会副会長。
- ・役職員等は、就任当初を記載しており、現在は、変更されている場合もあります。

奄美市総合計画策定委員会委員名簿

(敬称略、区分毎に五十音順)

区 分	役 職 等	氏 名	備 考
①健康で長寿を謳歌するまちづくり	第1分科会	奄美市老人クラブ連合会会長	◎明 良 保
		県立大島病院院長	小 代 正 隆
		大島郡医師会	喜 入 昭
		奄美市社会福祉協議会	福 島 正 樹
		名瀬保健所部長	福 盛 純 子
		奄美市地域女性団体連絡協議会	松 マチ子
		任用地区公募者	○山 田 千代子
②観光立島を目指した多様な産業連携のまちづくり	第2分科会	あまみ大島森林組合代表理事組合長	伊集院 忠三郎
		奄美大島商工会議所副会頭	指 宿 正 樹
		あまみ商工会会長	奥 篤 次
		名瀬漁業協同組合代表理事組合長	久 保 良 蔵
		笠利地区公募者	高 井 直 人
		任用町地域協議会会長	◎田 部 義 和
		あまみ農業協同組合専務	中 田 義 弘
		奄美大島観光物産協会	○西 平 功
		奄美漁業協同組合代表理事組合長	柊 田 謙 夫
		笠利地区公募者	福 崎 道 代

- ・各分科会において、◎分科会会長、○分科会副会長。
- ・役職等は、就任当初を記載しており、現在は、変更されている場合もあります。

(敬称略、区分毎に五十音順)

区 分	役 職 等	氏 名	備 考	
③自然に囲まれた快適なぐらしのまちづくり	第3分科会	名瀬地区公募者	○荒 田 まゆみ	
		奄美市名瀬町内会・自治会連合会	久 野 茂 隆	
		N P O 法人 奄美野鳥の会副会長	高 美喜男	
		名瀬地区公募者	西 和 博	
		奄美市連合青年団団長	前 山 大 輝	
		奄美警察署署長	溝 口 俊 郎	
		笠利町地域協議会会長	◎南 隆 光	
		民生委員・児童委員協議会会長	元 野 濱 子	
④地域の中で教え、学ぶ教育・文化のまちづくり	第4分科会	大島教育事務所長	楠 元 精 文	
		奄美市子ども会育成連合会副会長	茂 木 孝 也	
		奄美市P T A連絡協議会副会長	保 裕 之	
		奄美市体育協会	久 松 洋 道	
		奄美市文化協会	◎森 山 利 男	
		名瀬地区公募者	安 田 莊一郎	
		奄美市教育委員会委員長	○山 野 利 光	
⑤魅力ある地域づくりに向けて	第5分科会	笠利地区公募者	高 井 直 人	第2分科会 委員兼務
		N P O 法人 奄美野鳥の会副会長	◎高 美喜男	第3分科会 委員兼務
		奄美市社会福祉協議会	○福 島 正 樹	第1分科会 委員兼務
		奄美市文化協会	森 山 利 男	第4分科会 会長兼務

- ・各分科会において、◎分科会会長、○分科会副会長。
- ・役職等は、就任当初を記載しており、現在は、変更されている場合もあります。

## 市民アンケート調査報告

### ○調査の目的

この調査は、市民のまちづくりへのニーズを把握し、その結果を総合計画に反映させることを目的とする。

### ○調査の概要

#### 1. 調査対象者

- (1)一般市民…………… 23,106世帯  
市全域の全世帯
- (2)学生…………… 1,477人  
市内中学2年生…………… 612人  
市内高校2年生…………… 587人  
市内専門学校生…………… 278人
- (3)郷土出身者…………… 1,000人
- (4)その他…………… 63人  
観光大使、ふるさと納税者、市内  
宿泊施設利用者等

#### 2. 調査期間

平成21年1月21日～3月31日

#### 3. 調査項目

- (1)一般市民・学生
  - ①基本的項目…性別、年齢、居住地等
  - ②意見等
    - ・今後の居住意向
    - ・市の施策、住み心地に対する満足度
    - ・将来の都市像
    - ・自由意見
- (2)郷土出身者
  - ①基本的項目…性別、年齢、出身地等
  - ②意見等
    - ・本市への居住意向
    - ・今後、優先すべき施策
    - ・将来の都市像
    - ・自由意見
- (3)その他（観光大使、ふるさと納税者、市内宿泊施設利用者等）
  - ①基本的項目…性別、年齢、本市訪問回数等

#### ②意見等

- ・今後、優先すべき施策（観光を核にした産業振興について）
- ・本市を訪れて困ったこと
- ・本市の魅力
- ・本市への居住意向
- ・将来の都市像
- ・自由意見

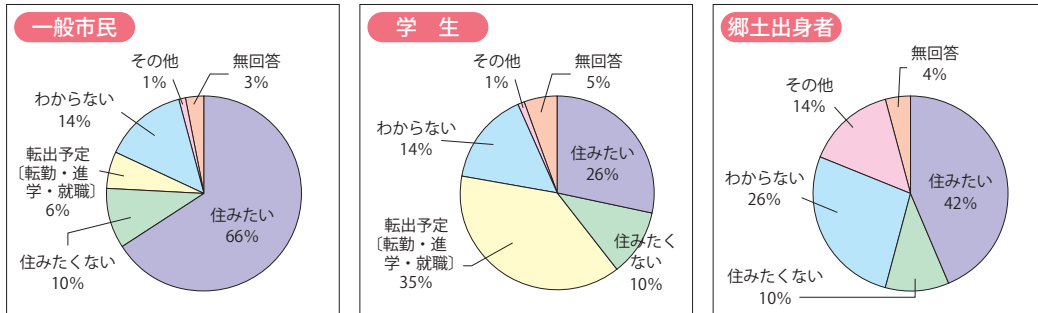
#### 4. 調査方法

- (1)一般市民  
広報誌を活用
- (2)学生  
各学校に配布・回収を依頼
- (3)郷土出身者  
郷土出身者名簿及び郷友会名簿から無作為抽出し、郵送
- (4)その他
  - ・観光大使・ふるさと納税者へ直接依頼
  - ・市内宿泊施設に配布、宿泊客への協力要請・回収を依頼

#### 5. 回収状況

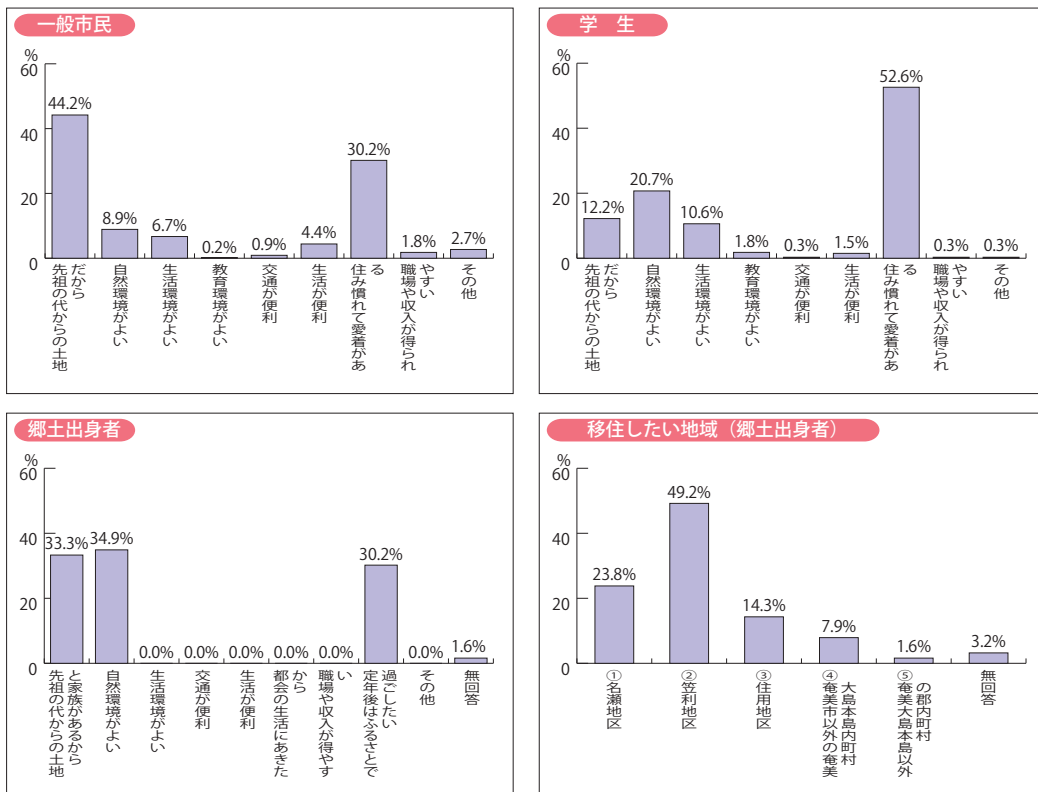
- (1)一般市民  
配布世帯数…………… 23,106世帯  
回収数…………… 871枚  
回収率…………… 3.8%
- (2)学生  
配布人数…………… 1,477人  
回収数…………… 1,190枚  
回収率…………… 80.6%
- (3)郷土出身者  
配布人数…………… 1,000人  
回収数…………… 146枚  
回収率…………… 14.6%
- (4)その他  
回収数…………… 63枚

問1 あなたは今後も（将来）奄美市に住みたいと思っていますか。



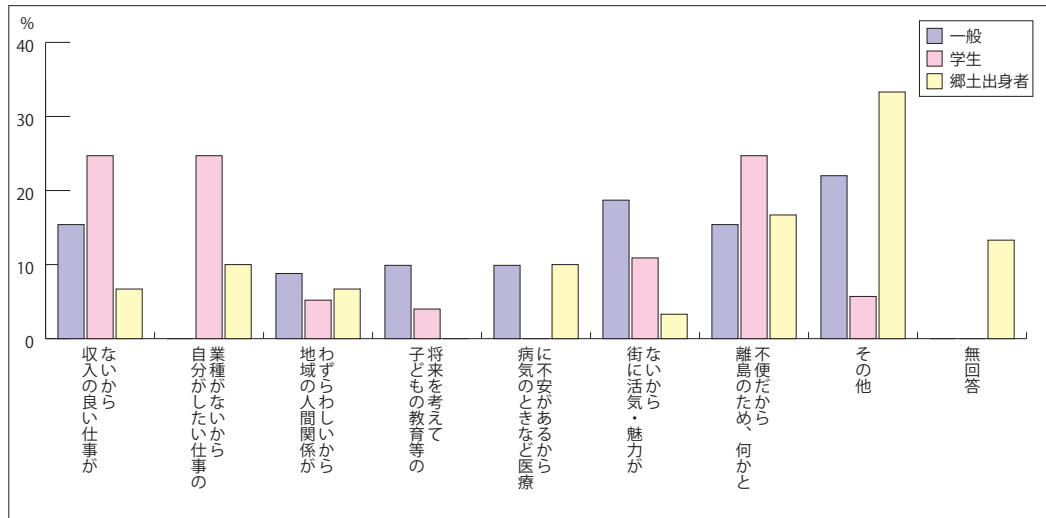
一般市民では66%が今後も奄美市に「住みたい」と回答しているのに対して、学生では、卒業後又は将来「住みたい」と回答したのは26%、また、郷土出身者では42%が「住みたい」と回答している  
 (前回調査時における「住みたい」と回答した割合は、一般市民が 63%、学生が 19%、出身者が 37%であり、どの層も増加傾向にある。)

問2 問1で「住みたい」とお答えになった方に伺います。その理由は何ですか。



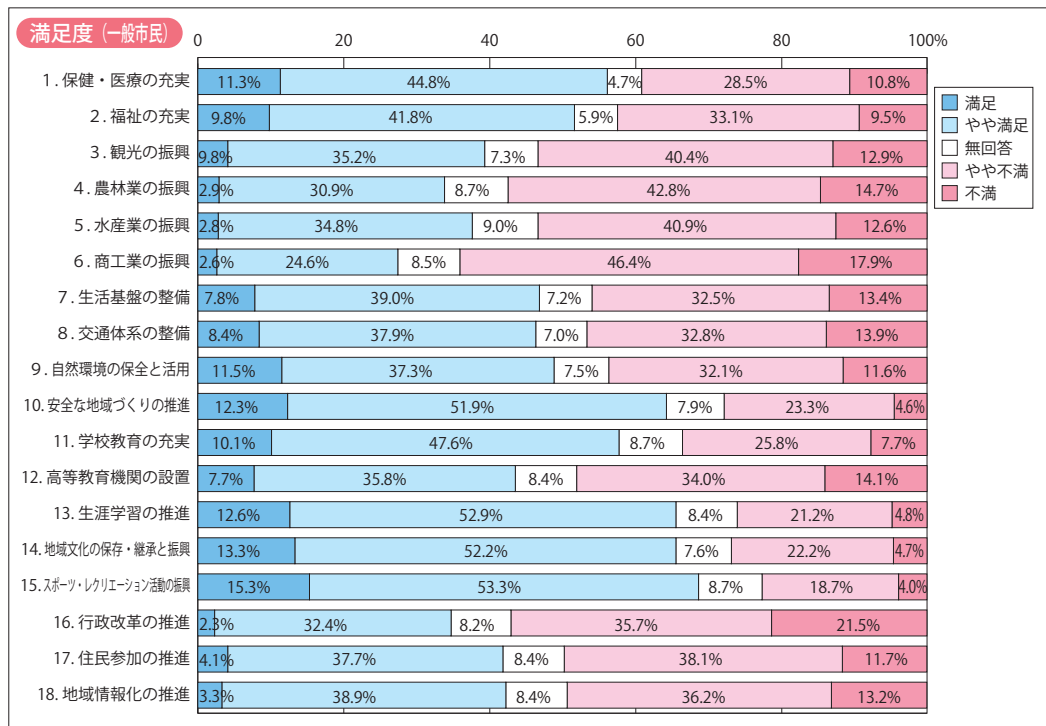
「奄美市に住みたい理由」の割合では、一般市民は「先祖代々の土地だから」、学生は「住み慣れて愛着がある」、出身者は「自然環境がよい」との理由が一番多く、郷土出身者のみを対象とした「移住したい地域」で最も多かったのは、笠利地区であった。  
 (前回調査時における「奄美市に住みたい理由」で一番多かった割合は、一般市民、学生ともに「住み慣れて愛着がある」が4割程度、出身者は「定年後はふるさとで過ごしたい」が43%であった。また、移住したい地域については、それぞれの地域での比較データが揃っていなかった。)

問3 問1で「他の地区に移りたい」とお答えになった方に伺います。  
その理由は何ですか。

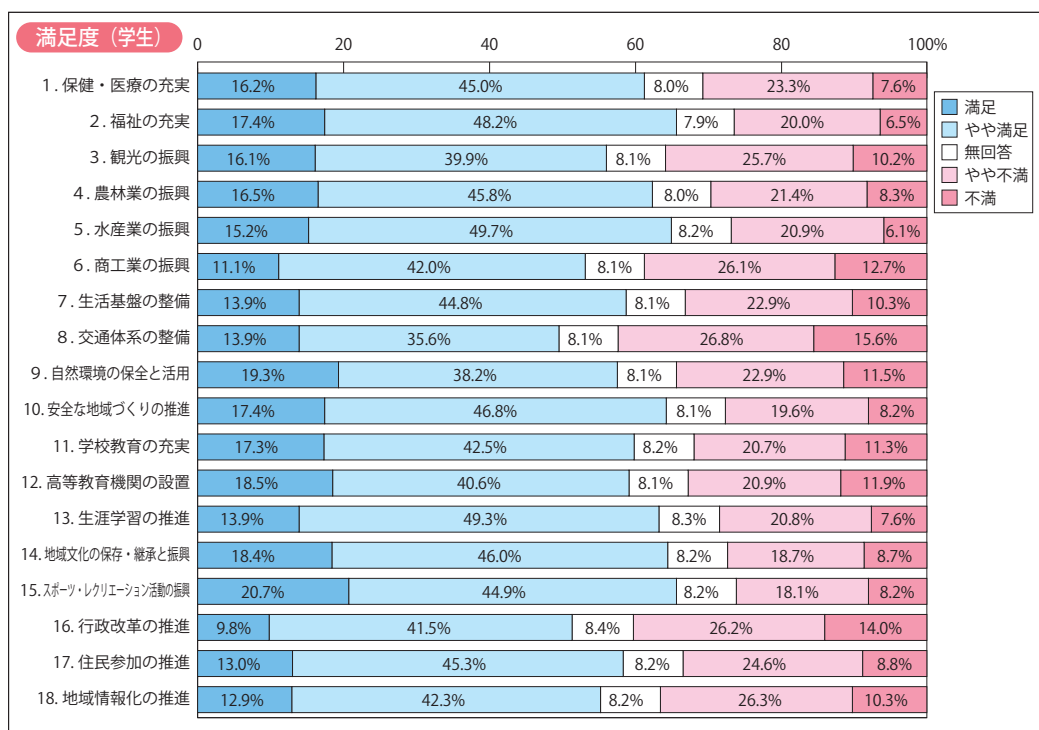


「他の地区に移りたい理由」の割合では、一般市民は「その他」の理由が一番多く、次いで「街に活気・魅力がない」、さらに「収入の良い仕事がない」の順で、前述の理由が全体の5割以上を占めた。学生は「収入の良い仕事がない」、「自分がしたい仕事の業種がない」、「離島のため不便」の理由が同率で一番多かった。出身者は「その他」が一番多く、次いで「離島のため不便」、さらに「無回答」との順であった。(前回調査時における「他の地区に移りたい理由」で一番高かった割合は、一般市民が「街に活気・魅力がない」、学生は今回同様「自分がしたい仕事の業種がない」が、出身者も今回同様「その他」であった。)

問4 施策に対する満足度



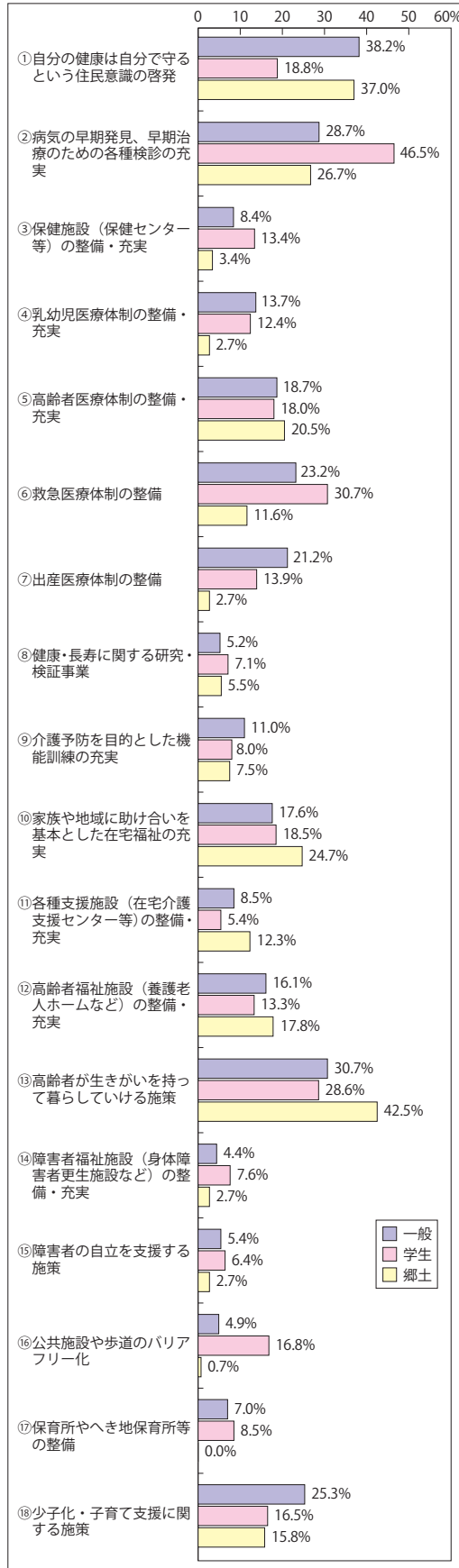




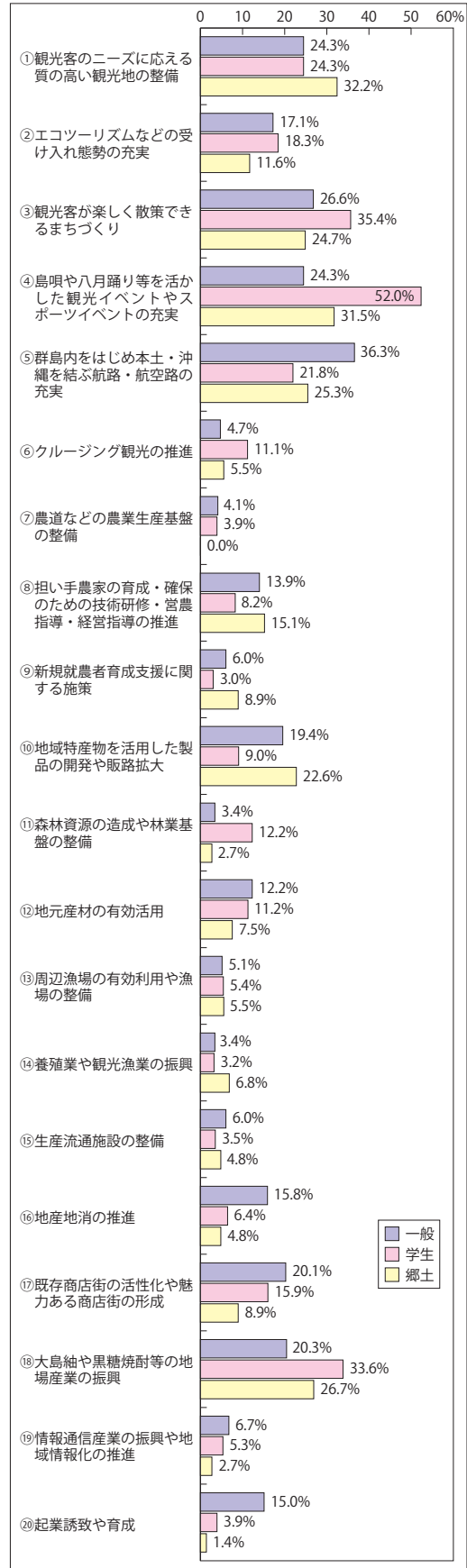
施策に対する満足度について、「満足」「やや満足」を合わせた割合においては、一般市民は「スポーツ・レクリエーション活動の振興」が一番高く、次に「地域文化の保存・継承と振興」の順であった。学生も同様に「スポーツ・レクリエーション活動の振興」が一番高く、次いで「地域文化の保存・継承と振興」の順であった。  
(前回調査時における「施策における満足度」で一番高かった割合は、一般市民が「水道・下水道の整備」、学生は「学校・教育施設の整備」であった。)

問5 次の各項目について何を優先して行うべきとお考えですか。(3つまで選択可)

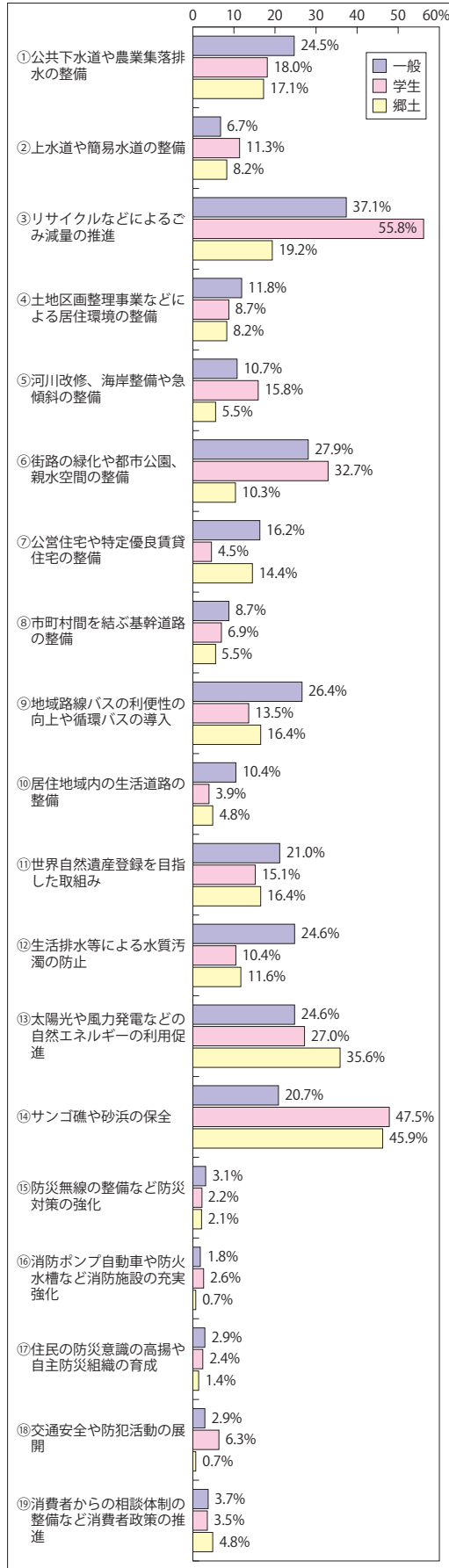
(1) 健康で長寿を謳歌するまちづくり



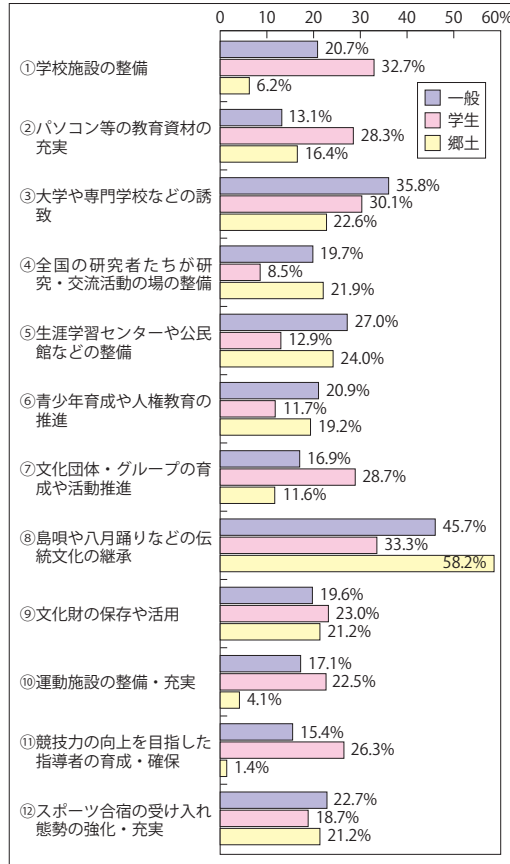
(2) 癒しの観光を核にした産業振興のまちづくり



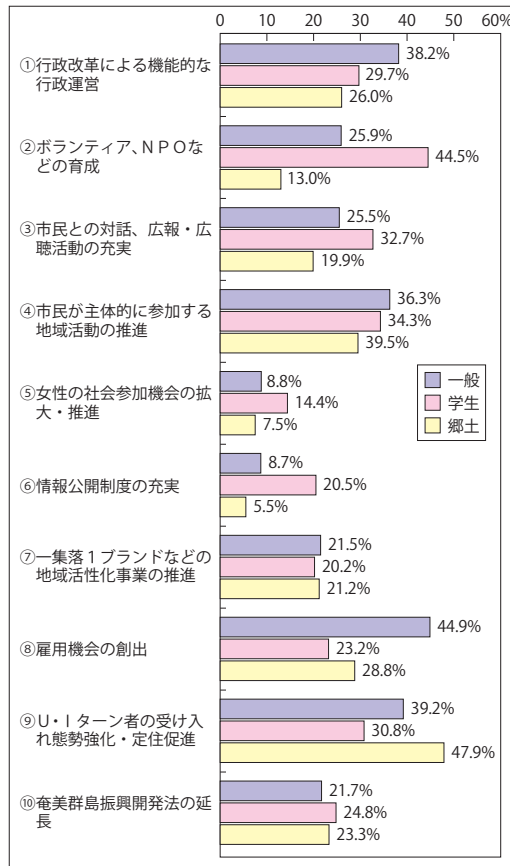
(3) 自然に囲まれた快適なくらしのまちづくり



(4) 地域の中で教え、まなぶ教育・文化のまちづくり



(5) 計画の実現に向けて



「健康で長寿を謳歌するまちづくり」という「保健・医療・福祉」分野における優先度について、一般市民は「自分の健康は自分で守るという住民意識の啓発」が38.2%、学生は「病気の早期発見、早期治療のための各種検診の充実」が46.2%、出身者は「高齢者が生きがいを持って暮らしていける施策」が42.5%と最も高かった。  
(前回調査時における同様な質問はなかった。)

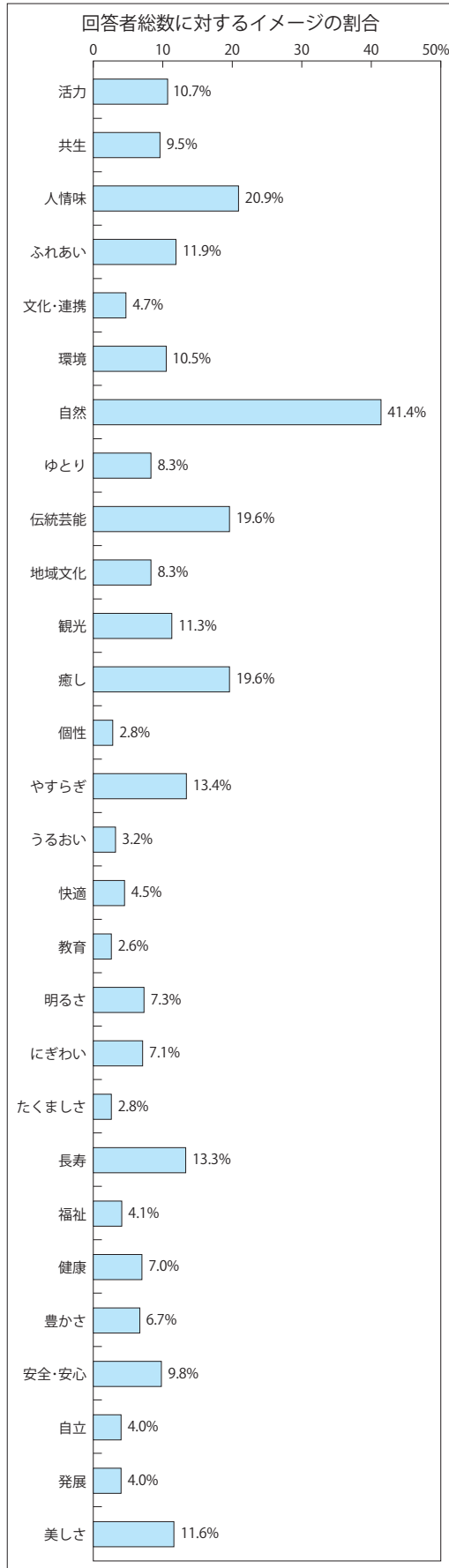
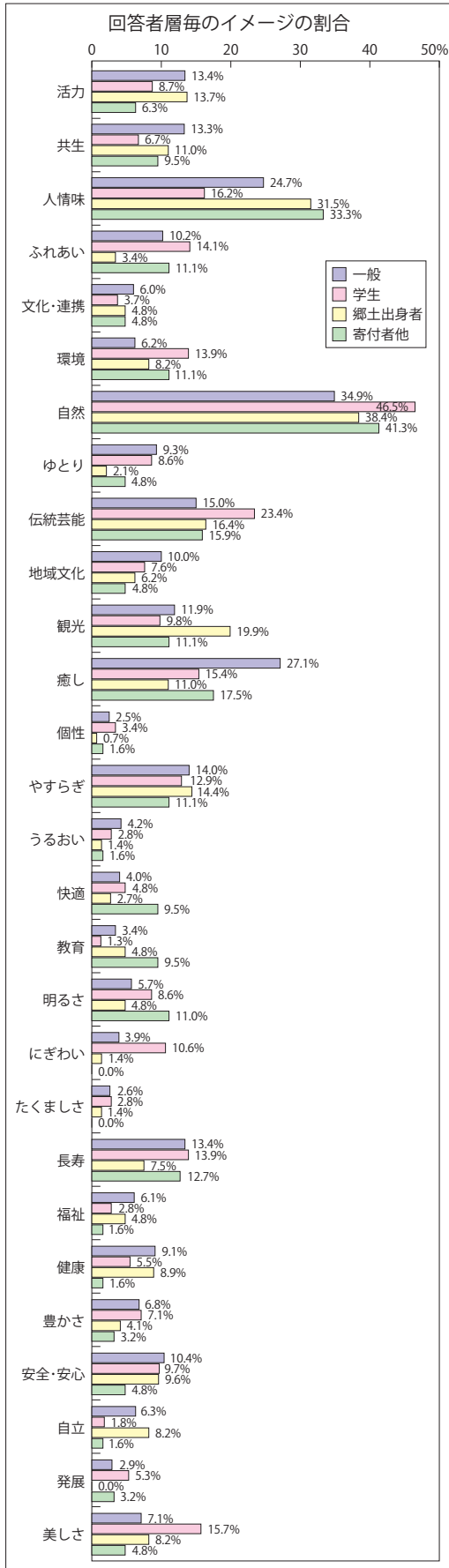
「癒しの観光を核にした産業振興まちづくり」という「産業経済」分野における優先度について、一般市民は「群島内をはじめ本土・沖縄を結ぶ航路・航空路の充実」が36.3%、学生は「島唄や八月踊り等を生かした観光イベントやスポーツイベントの充実」が52.0%、出身者は「観光客のニーズに応える質の高い観光地の整備」32.2%と最も高かった。  
(前回調査時における同様な質問はなかった。)

「自然に囲まれた快適な暮らしのまちづくり」という「自然環境」分野における優先度について、一般市民は「街路の緑化や都市公園、親水空間の整備」が37.1%、学生は「リサイクルなどによるごみ減量の推進」が55.8%、出身者は「サンゴ礁や砂浜の保全」が45.9%と最も高かった。  
(前回調査時における同様な質問はなかった。)

「地域の中で教え、まなぶ教育・文化のまちづくり」という「教育・文化」分野における優先度について、「島唄や八月踊りなどの伝統文化の継承」が、一般市民の45.7%、学生の33.3%、出身者の58.2%とそれぞれにおいて最も高かった。  
(前回調査時における同様な質問はなかった。)

「計画の実現に向けて」という「市民協働・行財政」の分野における優先度について、一般市民は「雇用機会の創出」が44.9%、学生は「ボランティア、NPOなどの育成」が44.5%、「U・Iターン者の受入れ体制強化・定住促進」が47.9%と最も高かった。  
(前回調査時における同様な質問はなかった。)

問6 奄美市の将来の都市像をイメージする言葉（3つまで選択可）



「将来の都市像をイメージする言葉」について、回答総数においては「自然」が41.4%を占めて最も高く、その内訳として一般市民、学生、出身者、寄附者他のそれぞれでも最も高かった。次いで「人情味」が20.9%、さらに「伝統芸能」、「癒し」が同率の19.6%という順になっている。



---

---

## 奄美市総合計画 2011-2020

発行日 平成23年3月

編集・発行 奄美市役所 企画調整課

〒894-8555 鹿児島県奄美市名瀬幸町2-5番8号

TEL 0997-52-1111 FAX 0997-52-1001

---

---